



広島交響楽団 第25回島根定期演奏会

2017.7.2 (日)

14:00開演(13:30開場)

島根県芸術文化センター「グラントワ」

〒698-0022 島根県益田市有明町5-15 TEL: 0856-31-1860

指揮：高関 健
Conductor: Ken Takaseki



© Masahide Sato

モーツァルト 歌劇「魔笛」序曲

Mozart: Die Zauberflöte K.620, Overture

ブラームス 交響曲第1番

Brahms: Symphony No.1 in C minor Op.68



第6回仙台国際音楽コンクール優勝者
ヴァイオリン：チャン・ユジン
Violin: Jang Yoo Jin

メンデルスゾーン ヴァイオリン 協奏曲

Mendelssohn: Violin Concerto in E minor Op.64

〈チケット発売日〉2017年4月16日(日)
〈入場料(全席自由・税込)〉
S席3,500円 A席2,500円
学生券(小学生~大学生)1,000円(学生証をご提示ください)
友の会会員 S席3,200円 A席2,200円 学生券800円
※学生券は当日残席の中より席を指定します

プレイガイド

- [全国] ローソンチケット(Lコード:63015)
- [益田] 島根県芸術文化センター「グラントワ」、キヌヤ益田SC、宮内オリエント商会本店、宮内オリエント商会JR益田駅店、サウンドパレット、ブックセンタージャスト高津店
- [浜田] 石央文化ホール、みずほ楽器 [江津] 江津市総合市民センター
- [津和野] 日原山村開発センター、津和野町観光協会
- [吉賀] カスヤ書店 [萩] 萩楽器店 [広島] 広響事務局

- 主催/ 島根県、公益財団法人しまね文化振興財団(いわみ芸術劇場)、公益社団法人広島交響楽協会
- 共催/ 芸術文化とふれあう協議会、日本海テレビ
- 助成/ ごうぎん島根文化振興財団
- 特別協賛/ 中国電力株式会社
- 協賛/ 株式会社キヌヤ、株式会社島根互助会、株式会社ジュンテンドー、高橋建設株式会社、徳栄建設株式会社、株式会社松永牧場、石見交通株式会社、大畑建設株式会社、ダイワボウレーヨン株式会社、株式会社ミック、株式会社森本建設
- 協力/ 仙台国際音楽コンクール事務局

※都合により出演者・プログラムなど内容を変更する場合がございます。予めご了承ください。
※未就学児のご入場はご遠慮ください。
※無料託児サービスがございます。ご希望の方は6月25日(日)までにグラントワまでお申し込みください
(TEL:0856-31-1860)。

チケットのお問い合わせ
島根県芸術文化センター「グラントワ」TEL:0856-31-1871

ドイツ音楽、ふたつの傑作

～仙台国際音楽コンクール優勝者を迎えて

優秀な受賞者を輩出して注目を集める仙台国際音楽コンクール、2016年の覇者、チャン・ユジンによるメンデルスゾーン。定評ある高関健のブラームスも必聴です。



ヴァイオリン チャン・ユジン Violin: Jang Yoo Jin

1990年韓国生まれ。9歳からKBS交響楽団やソウル・フィルなどと共演を重ね、11歳で初リサイタル。2007年にイヴァン・フィッシャー指揮ブタベスト祝祭管弦楽団とチャイコフスキーを共演したことで注目を浴びる。2004年メニューイン・コンクール3位、2009年ソウル国際音楽コンクール4位に入賞したほか、ハノーファーやインドアナポリスのコンクールでも高い評価を得ている注目の新星。2009年にはソウルの春音楽祭で紀尾井シンフォニエッタと共演したほか、スペインのエクスレマドゥーラ管弦楽団と共演して絶賛を博し、再招聘を受けた。2010年に韓国国立芸術大学を首席で卒業し、ボストン・ニューイングランド音楽院でミリアム・フリード氏に師事。2013年宗次エンジェル・ヴァイオリンコンクール1位、2016年仙台国際音楽コンクールで優勝した。



指揮 高関 健 Conductor: Ken Takaseki

桐朋学園在学中にカラヤン指揮者コンクールジャパンで優勝。ベルリンに留学しカラヤンのアシスタントを務めた。タングルウッド音楽祭でバーンスタイン、小澤征爾らに指導を受け、1981年にベルゲン交響楽団を指揮してヨーロッパに、1985年日本フィル定期演奏会で日本にデビュー。以降国内オーケストラはもとより、ウィーン交響楽団、オスロ・フィル、ベルリン・ドイツ交響楽団、クラングフォーラム・ウィーン、ケルン放送交響楽団などに客演。ロシアの名門セントペテルブルク・フィルとは2013年2月に続いて2017年4月の定期演奏会で再び共演、豊潤な響きを引き出して聴衆や楽員から大絶賛を受けたばかり。広島交響楽団音楽監督・常任指揮者、新日本フィル正指揮者、大阪センチュリー交響楽団常任指揮者、群馬交響楽団音楽監督、札幌交響楽団正指揮者等を歴任し、2014年4月から京都市交響楽団常任首席客演指揮者、2015年4月から東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団常任指揮者。オペラでは新国立劇場公演「夕鶴」、大阪レグジオペラ「ピーター・グライムズ」などで好評を博し、ピエール・ブーレーズ、ミッシャ・マイスキー、イツァーク・パールマン等の世界的作曲家やソリスト、特にマルタ・アルゲリッチからは3回の共演を通じてその演奏を絶賛されるなど絶大な信頼を得ている。第4回渡邊曉雄音楽基金音楽賞(1996年)、第10回齋藤秀雄メモリアル基金賞(2011年)を受賞。東京藝術大学音楽学部指揮科教授 兼 藝大フィルハーモニア管弦楽団首席指揮者。

広島交響楽団 Hiroshima Symphony Orchestra

国際平和文化都市「広島」を本拠地とし、中・四国を代表するプロオーケストラ広響は、下野竜也が音楽総監督を、クリスティアン・アルミンクが首席客演指揮者を務めている。2004年から2016年まで音楽監督・常任指揮者を務めた秋山和慶は、2017年終身名誉指揮者に就任した。現在は年10回の定期演奏会、呉・福山・廿日市・島根での地域定期やディスカバリー・シリーズをはじめ、依頼公演や学校コンサート、巡回コンサートなど年間約140回を超える演奏活動を行っている。これまでに「広島市功労賞」「広島文化賞」「広島ホームテレビ文化賞」「地域文化功労者賞(文部大臣表彰)」「第54回中国文化賞」「第17回県民文化奨励賞」「第5回国際交流奨励賞」「文化対話賞(ユネスコ)」「広島市民賞(2013年度)」を受賞。
公式ホームページ<http://hirokyo.or.jp/>

